

すぎりは



2024.5 Vol.47

新ロゴマーク誕生！

杉並リハビリテーション病院の新しいロゴマークが誕生しました。

杉並区の区花である山茶花をイメージした初代ロゴマークは2024年3月に役目を終えました。

今回新しいロゴマークが誕生した経緯は、2019年中国で発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界的に蔓延し、人々の生活に大きな影響を及ぼし同時に医療界をとりまく環境が大きく変化したことに端を発します。

2023年5月に、コロナウイルス感染症は2類感染症から5類感染症へととなり人々の生活が少しずつコロナ以前に戻り始めています。

同時に医療界は再び大きな潮目を迎え、我々もこの時代の潮流に乗り遅れることなく心機一転、病院のシンボルであるロゴマークを新たに旅立つ決意をしました。



デザインは職員からの公募とし、基本となるコンセプトデザインは杉並リハビリテーション病院をご利用になる患者様及び働く職員ひとりひとりの幸せを願い、幸福の象徴として四つ葉のクローバーをモチーフにしました。クローバーの葉は、杉並リハビリテーション病院が目指す未来像を4つのアルファベットの「C」の形を用いて、表現しています。

その目指す未来像とは、大きく変化した医療界へ常に挑戦し続けること（Challenge）、変化した医療界に柔軟に対応し（Change）、さらに病院が飛躍する機会と捉え（Chance）、その為には何をすべきか正しい選択を創造すること（Creative）、結果として如何なる時代も必要とされ続ける病院であることとしました。

更にクローバーの中には、杉並リハビリテーション病院で働く職員の将来像を2つの「C」で表現しています。ひとつめのCはこの地域で永遠に住民の皆様から必要とされる医療人であり続けること（Continuation）、すべての患者様とそして医療機関様としっかりと協調できる医療人であること（Collaboration）を意味しています。さらにその2つの「C」を用いて、SUGINAMIの「S」をイメージしました。コンセプトカラーとして「杉」をイメージした「緑」をベースとしています。

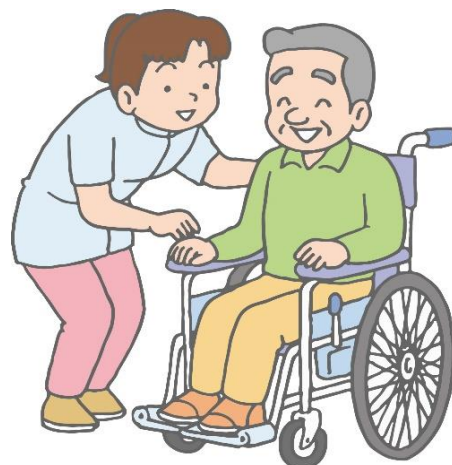
このような経緯を経て新しいロゴマークを決定し、新たなスタートを迎えました。

これからも地域住民の皆様、医療機関の皆様から必要とされる病院を目指して参りますので、御指導の程お願い申し上げます。

杉並リハビリテーション病院 事務長 佐藤正基

自立支援プロジェクト取り組み！

『自立支援プロジェクト』では、病棟リハの係長・主任職・リーダー級の職員が主体となり、既存の病棟「自立支援マニュアル」の改変を行っております。患者様の自立には各々専門性の違う多職種が共同して同じ目標に向かうこと、個別性に合わせ直近の課題を捉えることが重要です。既存の「自立支援マニュアル」は文字ベースの為、個々や職種間で解釈の差が大きく、実際の生活動作場面の課題を明確にするのが難しいという課題がありました。



今回の改変では日常生活動作（起居、移乗、移動、トイレ、食事、更衣、整容、入浴）について、患者様が要介助状態から自立するまでの流れと達成すべき課題を図式にまとめました。これにより担当リハ・看護師間の見解が共有しやすくなり、患者様の直近の課題が可視化できるようになります。この可視化と情報共有により、各々専門性の違う各職種が共同して同じ目標達成に向けて支援ができると考えています。またマニュアルが図式化されることにより、同職種内でも患者様を評価する際の個人差が減り、誰が担当になっても自立支援の質が保てると期待しています。発端は看護職員の一言でした。そこからプロジェクトが立ち上がり、職員が一丸となり僅か一年弱で図式化から運用に至りました。

この一致団結が当院の強みです。これからも患者様の笑顔の為に多職種共同し広い視野で患者様の全体像を捉え個別性のある質の高い自立支援に繋がるよう先導します。

リハビリテーション科 主任 笹井拓歩



災害対策 保存食切り替え！！

当院では災害対策として「災害用備蓄品」を整備しております。今回は備蓄食として導入した「サバイバル®フーズ」をご紹介します。

当院が「サバイバル®フーズ」を選んだ理由として

①【超・長期保存】

一般的な備蓄食は3年から5年保存が一般的ですが、「サバイバル®フーズ」は25年間の超・長期保存が可能な備蓄食です。また保存期間が長期なため買替回数が減り25年間トータルでの購入コストを比較すると割安になる点も選んだ理由の一つです。

②【おいしい】

一度調理した料理を高度なフリーズドライ加工するため、調理した時のおいしさはそのまま保存。そのため災害時でもおいしい食事を提供することが可能となります。

③【簡単調理】

「サバイバル®フーズ」は調理も簡単で、お湯を注いで5分、水でも10分で出来上がります。簡易コンロが使用出来れば、更においしく食事を提供することが可能です。

④【国内製造・徹底した品質管理】

「サバイバル®フーズ」は国内で製造・加工・包装まで全て行うため、安定供給が可能で、品質保証も徹底されており、災害時に安心して患者様・職員へ提供できる点も選んだ理由となります。

当院としては、今後も計画的に備蓄数を増やし、災害時等に対応できるよう努めてまいります。

災害対策委員会

製品一例

チキンシチュー



野菜シチュー



洋風とり雑炊



クラッカー



チキンカレー



洋風えび雑炊



～当院の現況～

2024年1月 2024年2月 2024年3月

病 床 利 用 率 95.9% 97.3% 93.2%

入院延べ患者数 2965人 2816人 2879人

在 宅 復 帰 率 (直近3ヶ月)...92.5%

重 症 患 者 割 合 (直近6ヶ月)...45.4% ※日常生活機能評価で10点以上若しくはFIM55点以下の新規患者割合

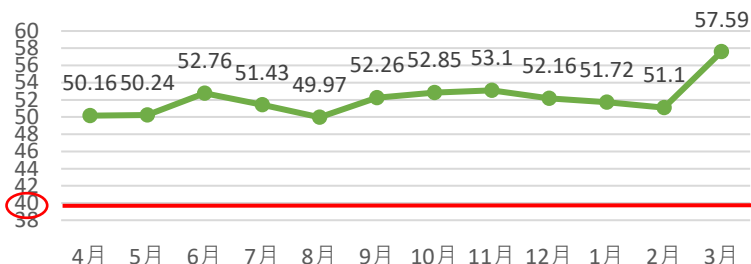
重症患者回復病棟改善割合(直近6ヶ月)...57.95% ※重症患者のうち4点以上改善している者の割合

～リハビリ評価～

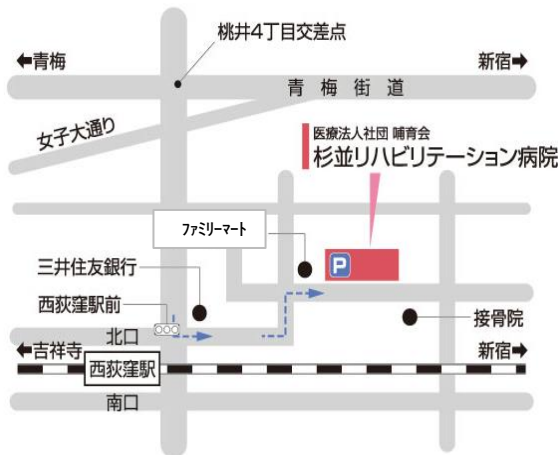
実績指数

各患者の	FIM得点の {運動項目} の退棟時と入棟時の差	の総和
各患者の	入棟から退棟までの在棟日数 状態毎の回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数	の総和

実績指数 (直近6ヶ月平均)



交通のご案内



★西荻窪までの所要時間

JR中央線 東京から 約25分

JR中央線 新宿から 約14分

JR中央線 吉祥寺から 約 2分



JR中央線・総武線 西荻窪駅下車 北口徒歩2分

青梅街道 桃井4丁目交差点より西荻窪駅方向約1km

西荻窪駅前信号を左 (一方通行)

【患者様の権利】

- 1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります
- 2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります
- 3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります
- 4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります
- 5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります
- 6、患者様は自己決定ができない場合、代理人に意思決定を委ねる権利が有ります

【理 念】

「愛し愛される病院」

【基本指針】

- 1、私たちは、患者様、ご家族に「おもいやり」をもって接します。
- 1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
- 1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
- 1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
- 1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。



医療法人社団 哺育会

杉並リハビリテーション病院

〒167-0042 東京都杉並区西荻北2-5-5

TEL 03-3396-3181 (代)

発 行：杉並リハビリテーション病院

発行責任者：小寺 正純

編 集 責 任：広報委員会

<https://www.suginami-reha-tokyo.jp/>

